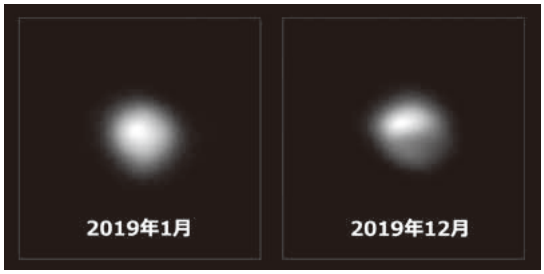
天文学の扉を開こう

４月の夜空

輝きを取り戻したベテルギウス

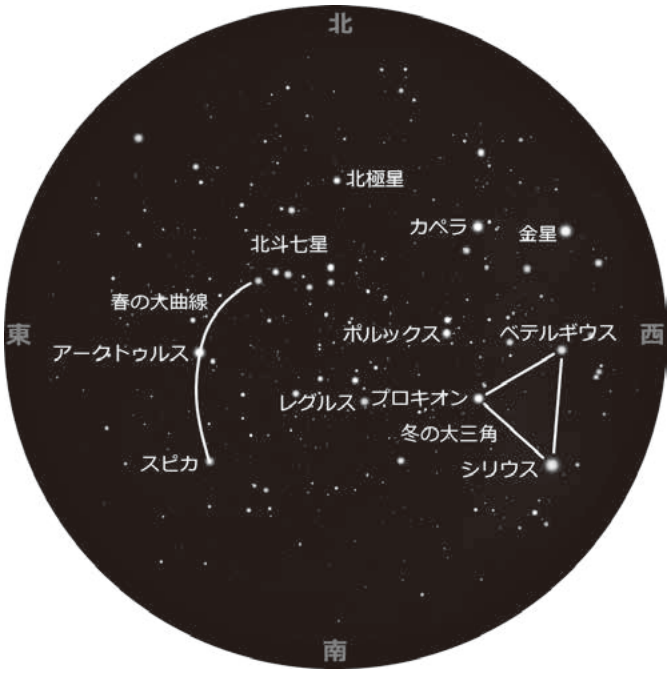
冬を代表するオリオン座の一等星ベテルギウスは、昨年10月ごろから急速に暗くなり始めて、１月には観測史上最も暗くなり、二等星に陥落してしまいました。しかし、この減光も２月には底を打ち、ベテルギウスは徐々に明るさを取り戻して、３月に無事一等星に復帰しました。超新星爆発の前兆ではないかともいわれていた今回の大減光ですが、今すぐ大爆発を起こすということはなさそうです。



では、今回の観測史上最大の減光は、一体なにが原因だったのでしょうか？１つは、先月ご紹介した、ベテルギウスの変光周期のうち、約430日周期と約６年周期の２つの周期がたまたま重なったためだというものです。この説の予想は見事に当たって、２月にベテルギウスは明るくなり始めました。しかし、どうやら真相はそんなに単純ではないようです。

写真は、ベテルギウスの暗くなり始める前の2019年１月(左)と急激な減光が進行中の12月(右)に、欧州南天天文台の超大型望遠鏡(VLT)が撮影した表面の様子です。１月はほぼまん丸で明るさのムラもなかったベテルギウスが、12月にはややつぶれた形になり南半球が大きな影のようなものに覆われているのがよく分かります。これが、実際に変形しているためなのか、それとも、塵(ちり)などの影響で一部が暗く見えているのか、まだはっきり分かっていません。

しかし、塵の影響を受けにくい赤外線を使った観測では、ベテルギウスの表面温度は大きく下がってはいないという結果が出ています。とすると、塵の放出で星の一部が隠されて暗くなった可能性が高くなります。実際には、たまたま２つの周期が重なって通常より暗くなっていたベテルギウスに、塵の放出が追い打ちをかけて観測史上最も暗くなったといったところでしょうか。



４月のぐんま天文台のイベント

・18日(土)　**星空さんぽ**

○星図の説明

４月15日午後９時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後８時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。

編集・発行□高山村役場地域振興課
377-0792　群馬県吾妻郡高山村大字中山2856-1
TEL□0279-63-2111　FAX□0279-63-2768　https://vill.takayama.gunma.jp

群馬デスティネーションキャンペーン（DC）が始まります

群馬DCとは…JRグループと自治体・観光関係団体等が一体となって取り組む大型観光キャンペーンです。群馬県では９年ぶりの開催となり、「心にグッとぐんま わくわく 体験 新発見」をテーマに、全国に誇る温泉や自然、歴史・文化遺産、グルメなどぐんまの魅力を発信します。期間中は様々な特別企画をご用意して、皆さまのお越しをお待ちしております。

ググっとぐんま
公式 HP ▶

わが家のアイドル

※わが家のアイドル（6カ月～4歳未満）を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話をください。お待ちしています(*^_^*)　☎26-7944（直通）

戸室　**福原　憂海ちゃん（2歳）**

私の名前は「うみ」です。
お兄ちゃんが「蒼空（そら）」なので、「憂海（うみ）」と名付けてもらいました。
メルちゃんの人形がお気に入り！ご飯を食べさせたり、抱っこしてユラユラ揺らして寝かせてあげるの。メルちゃんの小さいママです。食べることも大好きで、何でも食べるよ！口ぐせは「お腹すいた～」です。

★大きいお兄ちゃんお姉ちゃんが大好きで、いつも「遊ぼ～」と誘っています。お話もお歌も大好きなのでいつも何か言っていて、静かなのは寝ている時だけ。全てがパパにそっくりです（笑）

北之谷　**小林　恢晟くん（2歳）**

僕の名前は「かいせい」です。明るい未来を信じて輝くような人生を送ることができるようにという願いを込めて名付けてもらいました。
働く車が大好き！遠くからでも「あった！かっこいい」とショベルカーを見つけられるんだよ。
コーヒー牛乳が好きで一気飲みもできるんだけど、上手に言えなくて「コーヒーごっこ」って言っちゃうんだ。

★工事車両が好きで、絵本を見ながら教えるとすぐに覚えるので、じぃじとばぁばがびっくりしています。将来はショベルカーの運転手さんかなと今から楽しみです。

こちら「10代目緑のふるさと協力隊」

4月に着任した時は、高山村は空気や水が美味しく、自然が壮大だということが魅力だと思いました。確かにそうですが、高山村の魅力はそれだけではないと気付きました。その1つとして、高山村全体が交流の場であること。村内でイベントに携わることが多く、来場者やイベント運営者と交流することが出来ます。逆に私が来場者の立場でも、来場者同士で交流することが出来ました。活動でない時でも、買い物や温泉に行くとほぼ毎日誰かに会えます。家にいる時でも子どもたちが遊びに来てくれます。食事に招いてくださる方もいました。そこでたわいもない話をすることが、私の日常の一部になりました。「環境」というものは自然や建物だけでなく、「人」も大きく関与すると言われています。それを高山村で過ごして感じることが出来ました。

このことに気付くまでにも色々なことに苦労しました。私は表面上真面目な割には、自分で物事を考えようとしない性格です。活動先でも人の指示に頼ることが多くあり、主体的に行動が出来ないことがありました。もっと頑張らなきゃという思いはあるものの、行動に伴わない。そんな私自身がカッコ悪くてとても嫌でした。そこで、私は自主的に新聞による発信や料理、食材の提供などを行いました。これらの行動がどれだけの影響を与えたか分かりませんが、私の意思で行動できたことは事実です。

私は来年度から農業を行います。農作業を行う際、どうすれば効率的に作業を行えるか常に考えることが大事だと教えていただきました。また、少しの工夫で作業が大幅にはかどったことも体験できました。こうして、生きていくには物事を考えることが重要であると気付かせてくれました。

村で様々なことを体験させていただき、新しい発見がたくさんありました。それに対してお世話になった方へしっかりお礼が出来ていません。まだ遠い話にはなりますが、私が独立して農家になったら、高山村では作れない作物をたくさん提供したいです。まだ未熟者ではありますが、次の活動先でも自尊心を育み積極的に頑張ります。

短い1年間でしたが、本当にありがとうございました。

緑のふるさと協力隊ブログ　http://taka-midori10.jugem.jp/